



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 進茂  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)坂口 賢三 (TEL)048(837)2011  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,086	62.1	826	45.0	855	47.2	557	174.4
23年3月期第1四半期	3,138	87.7	569	—	581	556.5	203	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 555百万円(396.2%) 23年3月期第1四半期 111百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	33	07	33	05
23年3月期第1四半期	12	06	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	20,992	65.3	13,735	65.3	—	—
23年3月期	19,977	66.7	13,357	66.7	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,714百万円 23年3月期 13,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	10 00	—	15 00	25 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10 00	—	15 00	25 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,700	14.9	1,450	△3.3	1,450	△5.4	900	10.0	53	43
通期	17,000	11.2	2,750	5.5	2,800	4.3	1,750	—	103	90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	18,948,923株	23年3月期	18,948,923株
24年3月期1Q	2,030,122株	23年3月期	2,103,045株
24年3月期1Q	16,849,415株	23年3月期1Q	16,837,106株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済動向は、大きなプラス要因として新興国経済の拡大、マイナス要因として先進国の財政不安に起因する景気の停滞あるいは後退懸念をあげることができます。そのほか為替、各国の消費者物価、雇用状況などといった数値は、極端な変動は見られないものの落ち着いた推移を辿りました。また、日本では3月11日に発生した東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断、電力使用制限による生産状況の変化が景気回復の足枷となりました。

当社グループを取り巻く経済環境では、世界各国でのスマートフォンなどモバイル端末の好調な販売、省エネ化、スマートグリッド化に向けた各国政府の施策や各国企業の技術・製品開発、自動車の生産・販売の回復などのプラス要因をあげることができます。

このような環境の中、当社グループの主力事業である巻線機事業では、近年、鋭意開発を進めましたモバイル端末とその周辺機器に使用される微細コイル向けの自動巻線機の受注・製造・販売が好調に推移いたしました。また、エアコン・冷蔵庫・洗濯機など省エネ家電向け、自動車の様々な電装品向けの自動巻線機の開発強化にも取り組み、これらの受注・製造・販売も増加してきております。

これらの結果、売上高は50億86百万円（前年同期比62.1%増）、営業利益は8億26百万円（前年同期比45.0%増）、経常利益は8億55百万円（前年同期比47.2%増）、四半期純利益は5億57百万円（前年同期比174.4%増）となり、売上高、利益共に前年同期に比べ大幅な増加となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (巻線機事業)

全売上高の約97%を占める巻線機事業におきましては、前述のとおり、スマートフォン向けを中心とした微細コイル向け巻線機が引き続き好調なことに加え、家電関連・自動車関連向けの巻線機のニーズが増加したことにより、連結売上高は49億27百万円、セグメント利益（営業利益）は9億49百万円となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は82億4百万円、売上高（生産高）は43億52百万円、当第1四半期末の受注残高は109億54百万円となりました。

## (非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、アミューズメント用タグ・カードは堅調に推移したものの、東日本大震災による一時的な受注マインド低下の影響を受け、連結売上高は1億5百万円、セグメント利益（営業利益）は12百万円となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は1億89百万円、売上高（生産高）は1億5百万円、当第1四半期末の受注残高は2億円となりました。

## (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、連結売上高は54百万円、セグメント利益（営業利益）は26百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比10億78百万円増加し、133億35百万円となりました。これは主として、現金及び預金が1億67百万円、繰延税金資産が1億16百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が5億91百万円、仕掛品が5億81百万円、原材料及び貯蔵品が1億85百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比64百万円減少し、76億56百万円となりました。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比10億14百万円増加し、209億92百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比6億41百万円増加し、61億25百万円となりました。これは主として、未払法人税等6億75百万円の減少があったものの、支払手形及び買掛金が10億32百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比5百万円減少し、11億31百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比6億36百万円増加し、72億56百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比3億77百万円増加し、137億35百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、スマートフォンなどモバイル機器の設備需要は一服するものと見られますが、省エネ家電の開発・生産の増加、自動車関連企業の設備投資の回復、また、新興国での生産設備の自動化ニーズがさらに高まっているほか、様々な産業でスマートグリッドに向けた開発に拍車がかかっており、世界経済に不安定要因はあるものの、当社グループにおきましては当第1四半期連結累計期間末の受注残高、受注状況から、本年5月13日公表の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性がないため、記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,345,364	5,178,219
受取手形及び売掛金	3,418,538	4,010,300
仕掛品	2,738,059	3,319,804
原材料及び貯蔵品	341,870	527,550
繰延税金資産	215,907	99,902
その他	211,181	211,343
貸倒引当金	△13,871	△11,613
流動資産合計	12,257,050	13,335,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,510,860	2,474,244
機械装置及び運搬具(純額)	394,733	353,196
土地	1,747,384	1,746,208
その他(純額)	93,658	99,908
有形固定資産合計	4,746,636	4,673,558
無形固定資産		
その他	36,255	34,441
無形固定資産合計	36,255	34,441
投資その他の資産		
投資有価証券	1,343,551	1,323,061
繰延税金資産	1,116,758	1,122,943
その他	490,297	512,939
貸倒引当金	△12,629	△10,323
投資その他の資産合計	2,937,978	2,948,621
固定資産合計	7,720,871	7,656,621
資産合計	19,977,922	20,992,128
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,301,296	4,333,771
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	885,649	209,878
賞与引当金	236,414	125,057
その他	660,404	1,056,685
流動負債合計	5,483,764	6,125,393
固定負債		
退職給付引当金	239,793	246,374
負ののれん	115,519	103,967
その他	780,903	780,871
固定負債合計	1,136,216	1,131,213
負債合計	6,619,981	7,256,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,581,107	2,595,050
利益剰余金	5,685,350	5,997,498
自己株式	△1,600,061	△1,544,677
株主資本合計	13,551,324	13,932,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,197	38,359
為替換算調整勘定	△272,566	△256,602
その他の包括利益累計額合計	△216,368	△218,243
少数株主持分	22,985	20,965
純資産合計	13,357,941	13,735,521
負債純資産合計	19,977,922	20,992,128

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,138,402	5,086,419
売上原価	2,082,423	3,642,808
売上総利益	1,055,978	1,443,611
販売費及び一般管理費	486,412	617,520
営業利益	569,565	826,090
営業外収益		
受取利息	2,334	1,598
受取配当金	14,173	14,453
負ののれん償却額	11,551	11,551
その他	9,846	10,657
営業外収益合計	37,905	38,261
営業外費用		
支払利息	4,591	2,005
債権売却損	3,692	1,443
為替差損	14,756	3,252
その他	3,044	1,717
営業外費用合計	26,085	8,418
経常利益	581,385	855,934
特別利益		
固定資産売却益	603	26
投資有価証券償還益	—	2,221
その他	1,369	118
特別利益合計	1,972	2,366
特別損失		
固定資産除却損	—	3,898
減損損失	11,134	1,175
その他	125,470	790
特別損失合計	136,604	5,864
税金等調整前四半期純利益	446,753	852,436
法人税、住民税及び事業税	202,256	188,613
法人税等調整額	40,700	105,696
法人税等合計	242,957	294,310
少数株主損益調整前四半期純利益	203,796	558,125
少数株主利益	786	973
四半期純利益	203,009	557,151



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	203,796	558,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109,780	△17,838
為替換算調整勘定	17,960	15,323
その他の包括利益合計	△91,820	△2,515
四半期包括利益	111,975	555,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,408	555,276
少数株主に係る四半期包括利益	1,567	333

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)  
該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触 I C タグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,906,267	176,817	55,316	3,138,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,906,267	176,817	55,316	3,138,402
セグメント利益	633,401	28,660	45,853	707,915

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	707,915
全社費用(注)	△138,349
四半期連結損益計算書の営業利益	569,565

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,927,132	105,177	54,109	5,086,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,927,132	105,177	54,109	5,086,419
セグメント利益	949,024	12,369	26,381	987,774

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	987,774
全社費用(注)	△161,684
四半期連結損益計算書の営業利益	826,090

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)  
該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。